



**MIRION**  
TECHNOLOGIES

キャンベラジャパン株式会社 Tel. 03 5835 5402  
〒111-0053 東京都台東区 Fax. 03 5835 5403  
浅草橋 4-19-8 浅草橋ビル [www.canberra.com/jp/](http://www.canberra.com/jp/)

2016年8月

## TRUCKSCAN 第8回エンジニアリング奨励特別賞を受賞

2016年7月19日(火)、放射能濃度測定装置「TRUCKSCAN (以下、トラックスキャン)」研究開発プロジェクトが「第8回エンジニアリング奨励特別賞」を受賞し、キャンベラジャパン(株)、CANBERRA Industry Inc.、株式会社大林組の3社から成る共同開発チームが表彰式に出席しました。

同賞は(財)エンジニアリング協会(経済産業省の外郭団体)が今後商業化の期待されるプロジェクトを対象として、先駆的技術の開発に顕著な功績のあったグループに毎年1回授与しているものです。

環境省は2011年より、福島県内の放射性物質を含む土壌・廃棄物を対象にした大規模な中間貯蔵施設等の建設計画を開始しました。現在、除染作業などで回収された土壌・廃棄物は大型土嚢袋(以下、フレコン)に入れられた状態で県内各所の仮置き場等に保管されています。中間貯蔵施設ではこれらを汚染レベル毎に受け入れる計画ですが、除染土壌の発生量は2,200万m<sup>3</sup>と推計されており、開発チームは正確かつ効率的に放射能濃度を測定するシステムが必要であると考えました。

トラックスキャンは複数のフレコンにおける個別の放射能濃度を車両に載せたまま瞬時に測定することを可能にした革新的なシステムです。トラック1台あたり、約1分半で処理(フレコン6袋が積載されている場合、1袋あたり約15秒)することが可能で、しかも高精度測定を実現します。一方、作業員がサーベイメータで表面線量率を測定し、放射能濃度を換算するという従来の方法(いわゆる簡易法)では、フレコン1袋あたり約180秒かかる上、精度は高くありません。さらに測定準備としてフレコンの揚重等の作業も必要になります。これらのことから、トラックスキャンを使用することにより、簡易法と比較して、高精度測定、測定時間の短縮(1/12程度)、作業員の安全性向上、被ばく量の低減など、大幅な効率向上が見込まれます。

開発した技術は環境省の「平成27年度除染・現用等技術実証事業」にも採択され、福島県富岡町内で実証試験を行いました。

実証試験の結果は、南アフリカで行われたIRPA14(国際放射線防護学会)やANSI2016(米国原子力学会)等で成果報告しました。



**CANBERRA**